

教育工学とEFD 5

授業料無償は実現可能か
 わが国の教育基本法は、国際的な視点からみると学習権についての認識が不十分であることを指摘した。それでは学習者の視点から見ると、どのような表現で表わすことができるか。主語を「学習」と言い換えてみよう。

二 幅広い知識と教養を身に付け、平和と共生を希求する態度を身につけ、職業倫理を尊重するとともに、健康な生活が享受できるように、身体を鍛える。

三 公平と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与できる能力を習得する。

四 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与できる態度と能力を習得する。

五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、国際社会の平和と発展に寄与できる態度と能力を習得する。

二 学習は、社会に貢献することを旨とし、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を習得することを目的とする。

(学習の目的)

第一条 学習は、変動社会において人間の尊厳を尊重し、つつ生活安定させるために、変化を専門的職業に就いてたえず新しい職業に就くことを目的とする。



西之園氏

二 学習は、社会に貢献することを旨とし、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を習得することを目的とする。

(学習の目的)

第二条 学習は、その目的を実現するため、人間としての尊厳と学習権を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行う。

一 個人の学習権を尊重し、その能力を伸ばして創造性を発揮し、自主及び自律の精神に基づいて、職業

第三条 国民一人一人が、大学校として応募したと変動する社会にあって、経済的に安定した人生を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場面に於いて学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる専門的職業習得のための生涯学習社会を実現することを旨として、独学協学の普及に努める。

以上のように表現したとき、これを学習基本宣言と呼んでおこう。

二 幅広い知識と教養を身に付け、平和と共生を希求する態度を身につけ、職業倫理を尊重するとともに、健康な生活が享受できるように、身体を鍛える。

三 公平と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与できる能力を習得する。

四 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与できる態度と能力を習得する。

五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、国際社会の平和と発展に寄与できる態度と能力を習得する。

授業料無償は実現可能か

新コンセプトの高等教育機関を提案

NPO法人学習開発研究所代表 西之園晴夫(京都教育大) 名誉教授

学習基本宣言に賛同する人に学習権を認めて、学習の機会を無償で提供するところが可能であろうか。

これが研究課題である。このときの学習を開発する方法論を学習工学(Learning Technology)の研究に求めることができる。

①失業給付金の受給者と
 ②生活保護給付金の受給者とその家族
 ③第一五分位階級(厚生労働省の区分、平成十七年度で二〇九万円以下)の所得の家族
 ④外国人労働者とその家族
 ⑤その他上記に相当する生活困窮者

京都府がNPOを対象に提案型事業を公募したが、それに「セイフティネット」としての京都レッツラーン

⑤その他上記に相当する生活困窮者
 前回は紹介したOECDのクラブについて、この大都市であったが、商取引を扱

う法律が不十分であったので、それを整備するためにヨーロッパ各地から法律学者が招かれた。その知識を求めて各地から学生が集まったことがきっかけとなり、一種の共同組合を結成したのがポロニア大学の始まりといわれている。学長は学生の中から選ばれ、完全な自治組織として出発した。教授は招かれて講義をしたのであるが、知識は神聖なものと考えられてい

はなく、庶民の集まる三流の高等教育機関をも含めた全ての人を対象とした高等教育のユニバーサル化なのである。

わが国で大学進学者が増加して、全入に近い状態の大学も増加し

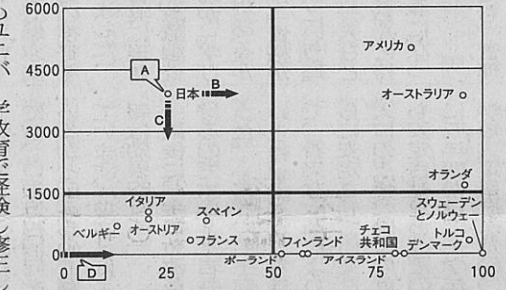


図1 奨学金を受けている学生の比率
 OECD Education at a Glance (2008) のデータから

対応が困難であった。第二期 P P方式あるいは問題解決・プロジェクト方式
 二〇〇三―〇七年、開発当初は問題解決方式を採用したが、学部学生では問題解決がかなり困難で抽象的であったので、プロジェクト方式で学校を構想する課題にした。チーム内で学力差が極端に大きいときに、その人に過重の負担がかかるという課題が残った。

第三期 学習者成長モデル
 二〇〇八年以降、参加者一人ひとりが自分の状況を認識して自律学習し、チーム内のメンバーと相互に協働学習しながら自分の成長を確認できる構造にした。この方式を中学校初任者研修で実施して有効に機能することを確認している。これを

たので、現在の受講料に相当する謝金をお布施として支払われた。

この大学の九〇〇周年を記念してヨーロッパの大学の学長が集まったが、そのときに大学大憲章が発表された。実質的には一〇年後の一九九九年のポロニア宣言として現在のヨーロッパの高等教育の改革の基盤となっている。現在進行しているポロニア計画は、わが国の一流大学に相当する大学を対象としたもので

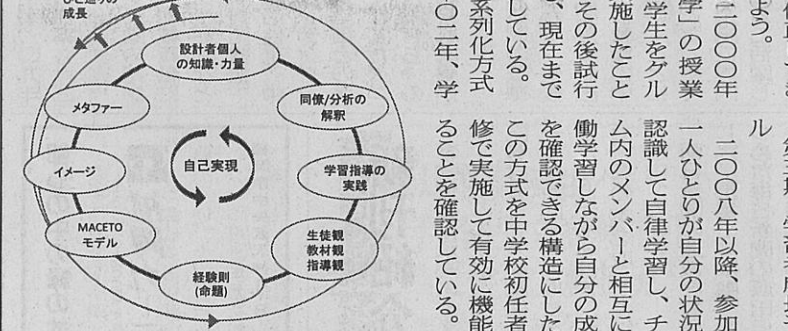


図2 スパイラルの成長モデル

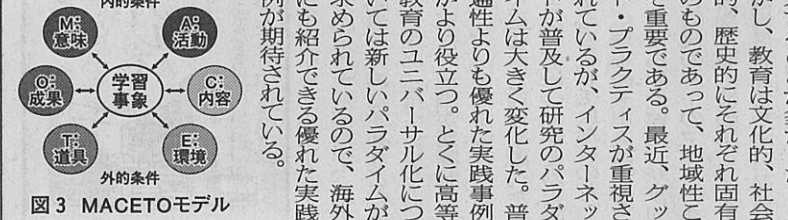


図3 MACETOモデル